

令和7年度 第1回学校評価アンケート自由記述に対する回答

《生徒》

1. 学校施設について（蛟龍館のWi-Fi・空調・開放時間等）

学校施設・設備についての意見をいただきました。体育館のエアコン設置については来年度から工事が開始され、2年後から使用できるといったように対応が進められています。また、蛟龍館のトイレについても2年後の150周年記念事業で改修をする方向で進んでいます。一度に全てを改善することはできませんが、生徒の声を聞き順次対応を進めていますので、御理解いただくようお願いします。

2. 蛟龍館・図書館の学習室延長について

図書館の利用時間については生徒手帳P.66にある通り、16時45分までと規定されています。しかし、生徒の学習室としての要望があったため検討した結果、現在は17時30分まで延長しています。職員の勤務時間が16時50分までとなっていることから、これ以上の延長は現実的ではありません。校外の学習室を利用するようお願いします。また、蛟龍館は20時30分に施錠されますが、この時間については、生徒の安全面を考慮して設定しているものです。前橋高校には市内から通う生徒もいれば、通学に片道2時間以上かかる生徒もあります。どの生徒も平等に施設を利用してもらうという観点からもこの時間で設定しています。御理解いただけると助かります。

3. 制服のルール緩和について

Tシャツ等の登下校を認めて欲しいという意見がありました。本校では登下校は制服着用となっていますが、それにはいくつかの理由があります。

(1) 「学ぶ場」に向かう意識の切り替え

制服はこれから「学びの場に向かう/帰る」という意識を作ります。いわば生活のスイッチの役割を果たしています。私服で登下校すると学校とプライベートの区別が曖昧になり、生活リズムや自己管理が乱れやすくなる傾向があります。

(2) 「公共の場」での振る舞い

制服での登下校は公共空間での「高校生らしい振る舞い」や「責任ある行動」を意識するきっかけになります。服装は、社会の一員としての立ち振る舞いを学ぶといった役割を持っています。

(3) 「公平性と学校生活」の共通基盤

制服は服装による経済格差や価値観の違いが露呈しにくく、全ての生徒にとって安心できる共通の基盤でもあります。登下校時の服装に私服やTシャツを認めると、「どこまでが許容範囲か」「どこから指導対象か」が曖昧になり、不要なトラブルの元になってしまいます。

以上の観点から、本校では制服での登下校を一貫しています。もちろん暑いからTシャツで登校したいといった生徒の気持ちも分かりますが、これについてはポロシャツ着用でカバーできると考えています。御理解いただければと思います。

《保護者》

1. 情報提供の在り方に関する意見

- ・学年通信や部活動の情報が保護者に届かない。(紙では不十分)

紙媒体の情報が保護者に届かないといった御意見については、一定数いただいております。学年通信については保護者に届くよう、各学年で様々な方法が取られています。しかし、学年毎に違いがあるため分かりにくい部分があるので、学年共通にして配信するよう検討していきたいと思います。

部活動の情報については部の状況が様々であり、学校で統一するということは現実的ではありませんが、いただいた御意見については職員間で共有したいと思います。

2. 学習環境・施設整備に関する要望

- ・蛟龍館や図書館の開放時間の延長
- ・空調やトイレの整備、蛟龍館の臭気対策

学校施設・設備については、トイレの改修や、体育館のエアコン設置の御要望をいただきました。体育館につきましては、来年度エアコン設置の工事が始まります。使用は2年後となってしまいますが、学校としては暑さ対策を講じていていることを御承知置きください。また、蛟龍館のトイレが和式で使いにくいという意見も何年か前から一定数ありますが、このことについては2年後の創立150周年記念事業として蛟龍館のトイレ改修を優先して行うという方向で現在進んでいます。学校のトイレについても臭いが気になるというご意見がございましたが、これについても県教育委員会に強く改修の申し入れをしているところでありますので、このような状況を御理解いただけすると幸いです。その他も施設設備について御意見をいただきましたが、ひとつひとつ検討し、できることを進めていますので御理解いただきますよう、よろしくお願ひします。

3. 課題の量や進度に関する意見

- ・課題が多すぎて大変そう
- ・定期考查の範囲をもっと早く提示して欲しい
- ・提出物の提出期限の提示を早くして欲しい

課題の量や提示の時期については、指導の意図を共有しながら各学年で調整しながら行っているところですが、生徒の学習計画が立てやすいよう今後さらに改善に努めて参ります。

4. 学習支援・進路指導の充実に関する要望

- ・学力下位層への補習の支援があるとよい
- ・質問会や見直し会のような支援を希望
- ・学習合宿の工夫（楽しみの要素の追加など）

補習については280名全体を良くするにはどうすべきかを各学年で考え、実施しているところです。個々に見れば様々な要望があるかと思いますが、100%全てを補うことは現実的には難しいと考えるところです。今後もなるべくひとりひとりの学力が伸ばせるよう検討して参ります。個々に質問がある場合は、積極的に教員に質問していただきますようお願いします。